

事務事業名	観光センター管理運営事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業	□ 総合戦略登載事業																													
政策体系	政策名	豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間			予算科目																										
	施策名	にぎわいあふれる商業・観光の推進			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 令和3 年度～)			会計	款	項	目	事業																						
	基本事業名	観光宣伝の充実						01	07	01	04	25																						
根拠法令								事務事業区分																										
所属	部課名	商工港湾部観光交流推進室						A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)																										
	課長名	森 正																																
	係名		電話	0192-27-3111																														
	担当者	古澤 純悦	内線	114																														
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)																												
当市の観光振興を図るために、観光案内や観光情報の発信、物産振興等の拠点として、三陸鉄道株式会社の盛駅・綾里駅・三陸駅に設置した観光センターの管理運営を行う。 事業費は、当市の観光の中心的な役割を担い、観光案内や観光情報の発信等の取組を行っている一般社団法人大船渡市観光物産協会への委託料として支出する。						<p style="color: red;">※全体計画欄の総投入量を記入</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="8">総 投 入 量 (千 円)</th> <th>財 源 内 訳</th> <th>国庫支出金</th> </tr> <tr> <td></td> <td>都道府県支出金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費</td> <td>人件費計 (B) 0</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B) 0</td> </tr> </table>	総 投 入 量 (千 円)	財 源 内 訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)	0		正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費	人件費計 (B) 0		トータルコスト(A)+(B) 0		国庫支出金	
総 投 入 量 (千 円)	財 源 内 訳	国庫支出金																																
		都道府県支出金																																
		地方債																																
		その他																																
		一般財源																																
		事業費計 (A)	0																															
		正規職員従事人数																																
		延べ業務時間																																
	人件費	人件費計 (B) 0																																
	トータルコスト(A)+(B) 0																																	
	都道府県支出金																																	
	地方債																																	
	その他																																	
	一般財源																																	
	事業費計 (A)	0																																
	正規職員従事人数																																	
	延べ業務時間																																	
	人件費	人件費計 (B) 0																																
	トータルコスト(A)+(B) 0																																	

(1) 事務事業の目的と指標							
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 市内及び周辺の観光案内や見所の紹介等の業務、観光情報の発信、施設等を活用した観光案内及び観光・物産振興、施設の管理及び環境整備等							
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・潜在的な観光客							
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・当市への観光客の増加							
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・大船渡市を訪れる。 ・魅力がPRされ、認知度が高まる。							
⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 名称 単位 ア 観光センター数 件 イ ウ							
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 日本の人口 千人 キ ク							
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 市内観光入込客数(年実績) 千人 シ 市内宿泊者数(年実績) 千人 ス							

		年度 単位	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)
投 入 量	財 源 内 訳	国庫支出金 千円						
		都道府県支出金 千円						
		地方債 千円						
		その他 千円						
		一般財源 千円		8,189	9,112	3,752	3,752	3,752
		事業費計 (A) 千円	0	8,189	9,112	3,752	3,752	3,752
人 件 費	正規職員従事人数 人			1	1	1	1	1
	延べ業務時間 時間			20	20	20	20	20
	人件費計 (B) 千円	0	80	80	80	80	80	80
	トータルコスト(A)+(B) 千円	0	8,269	9,192	3,832	3,832	3,832	3,832
⑤活動指標		ア 件		3	3	1	1	1
		イ						
		ウ						
⑥対象指標		カ 千人	125,559	124,310	123,751	123,161	122,544	
		キ						
		ク						
⑦成果指標		サ 千人	484	550	640	797	817	
		シ 千人	132	142	182	228	234	
		ス						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

一般社団法人大船渡市観光物産協会は、平成26年度より復興支援員制度を活用して観光振興支援員を雇用し、観光センターの運営など観光振興に取り組んできた。この制度が令和2年度で終了することから、観光施策の効率的・効果的な推進を図るため、令和3年度より、観光センター管理運営事業を実施した。

- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定期と比べてどう変わったのか?

当市の震災後における観光客入込状況は、平成26年の約112万人をピークに年々減少傾向であったが、令和元年は、前年比13%増の789千人と増加に転じた。しかし、令和2年の観光客入込状況は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前年比45%増の430千人と大幅に減少した。令和3年も厳しい状況が続いている、観光情報発信等による認知度向上の取組が重要となっている。

また、令和元年度に、業務を委託していた大船渡市観光物産協会より、観光センター運営事業からの撤退の意向が示され、令和2年度に関係団体や地域との協議を進め、一部の観光センター運営事業を令和4年度で終了することとした。

- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

関係者からは、当市の観光振興の推進を求める意見が寄せられている。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	当事業は、にぎわいあふれる観光の推進に向けた市の政策に直結する。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	観光客数が減少しており、市がコロナ禍に対応した誘客に資する事業を行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	潜在的な観光客を対象とした事業の実施により、当市への観光客の増加を目指すことは妥当である。
有効性評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	平成26年の約112万人をピークに年々減少傾向であった観光客数が、観光振興の各種取組の成果により、令和元年は、前年比13%増の789千人と増加に転じた。令和3年は新型コロナウイルスの影響により減少したが、継続した取組による成果の向上は期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	廃止・休止した場合、観光客へのサービスの低下につながり、観光客が減少する恐れがある。
効率性評価	⑥ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	観光客等の利用の少ない観光センターについては廃止するなど、事業費の削減余地はある。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	委託契約事務、進捗管理等、必要最小限の事務である。
公平性評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	受益者は観光客、市民であり、公平と言える。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性

- ① 現状維持
② 改革改善(縮小・統合含む)
③ 終了・廃止・休止



(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等

効果的な情報発信により認知度向上に努める。
令和5年度以降は、業務の見直として、一部の観光センターの廃止を予定している。

(2) 改革・改善による期待成果

	コスト		
	削減	維持	増加
成績	向上		
	維持	●	×
低下		×	×

4 課長等意見

(1) 今後の方向性

- ① 現状維持
② 改革改善(縮小・統合含む)
③ 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

観光客等の利用の少ない観光センターについては廃止する予定であるが、存続する観光センターについても、効率的な観光情報の発信を行うなど、観光客の増加に資する取組を進める必要がある。